

うらばなし4

さつえい①

「なんとなく距離感があって。ぱっと見て違和感が残る配置に」

「この後、松下は首をかしげる演技をしていますが、バレちゃうのでカットしました」



シユ 続いては台所のシーンです。
石山 これは編集で悩んだところです。

土井 色々なアングルから撮りました。

シユ これも、家財を上手く使っていますね。

石山 おばあちゃんの家にありますよ。

土井 広く見えすぎないように意識しました。

武田 抜けながらすぐ下の土間に降りられますから。

土井 このシーンはロケハンで思いつきました。

いいなー台所あるなって。火をつけてみたりして、お湯が沸かせるって。

石山 火を止める以外にも、ずっと落ちたタオルを拾うとか、色々考えましたね。

土井 お風呂のシーンも作ろうと思ってたんです。シャワーを浴びていたら、タオルがいつのまにか用意されていたとか。アイデアとしてはありました。

石山 この後、松下は首をかしげる演技をしていますが、バレちゃうのでカットしました。違和感が違和感でなくなってしまうから。

シユ こちら「開けたら、閉めるんだよ」のシーンです。

土井 このシーンは、冒頭でオバケが手助けをしているのを見た子供の、茶だんすの扉を開けておけば、誰かが閉めにくるんじゃないかなっていう動きを撮りました。そしたらオバケのお父さんが来て、面倒見があるから子供に教えてあげようと、「開けたら、閉めるんだよ」と言います。ここでもまだ気づいて欲しくはないで、違和感がどんどん膨らんでいって、変だけど、おじいちゃんが子どもに何か言ってるって雰囲気にしてしまって、「ぜんじつ」のシーンを持って行きました。だからああいうセリフになったんです。



シユ 冒頭のシーンです。

石山 石山さんの背中、綺麗だなー。

CD このシーンは効いてましたよね。皆がどういう出方をしてるのかって見返した。

土井 このシーンが一番幽霊っぽいですよね。家族で過ごしているように見えるけど、なんとなく距離感があって、ぱっと見た印象で少し違和感が残る配置にしました。



シユ 「ぜんじつ」の家族会議のシーン。

土井 あのなあ！ですね（笑）

石山 一人ハスを向いている玉寄がイイ。

シユ 薄井さんのお父さん、最高でした！

土井 お父さんについては、薄井さんに当て書きしました。こういうお芝居するだろうなって、そのままセリフにのせて。

本番では台本のイメージどおりのキャラにしていただいて、残りは薄井さんの色を入れてもらいました。

石山 このシーンのやりとりは良かったよね。

土井 土屋さんがすごくいいお芝居をしてくれて、カカア天下感がすごく出てた。

石山 優しい感じだけど、カカア天下感。

シユ 「優しくなきゃダメなんだよ」って、良い言葉だなって思いました。



土井 やっぱオバケって、心霊特集とか、怖い印象ばかりになるんです。そうじゃないオバケもきっといるだろうし、怖いものばっかりじゃないと言いたかった。僕はオバケの存在を信じなくて、あくまでエンタメの中のものだと思っています。ファンタジーの世界の中で、温かいオバケもいればいいなって。このセリフはオバケでもそういう人がいるんだよ、死んだからいきなり暗くなったり、いきなり攻撃したりするんじゃないんだよって思いました。



CD 成仏できなさそうなオバケはたくさんいたけど、他人に親切にするオバケってあまりいなかった。そういう意味では、映画史に残る作品ですね。

土井 妖怪みたいな感じですね。妖怪ならきっと手助けとかするんですけど。

石山 結果ボツになっているんですけど、会議をしながらスイカを食べ歩いて…四方に盛り塩とか置いてあって…塩持てこいとか（笑）

土井 オバケが盛り塩から、スイカの塩を持ってくる（笑）

石山 あと、お札が貼ってあって、それをはがしてメモ代わりにしたりとか…

土井 笑いの要素を入れたかったんですね。

石山 全部ネタバレになっちゃうからダメで。

土井 結果的にただの家族会議になりました。

石山 個人的には見たかったなー。

CD 「マイ盛り塩」とかですか？

全員 （笑）

土井 それ面白いです（笑）まったく効果がない盛り塩とか。

石山 別の作品でやりましょう。

「死んだからいきなり暗くなったり、いきなり攻撃したりするんじゃないんだよって」